

## 2-2 教育改革事務部門管理者会議

本会議は、学修支援環境の改善について理解を深めるため、上級生による学生目線での教育サポートの必要性とその仕組み及び教育効果を確認し、学修の達成度を点検・改善する手段として必須のeポートフォリオシステムの導入と活用方法を中心に考察することを目的に実施している。

### (1) 開催計画の策定

教育の質的転換に向けて理解しておくべき課題として、「上級生による学修支援と学修達成度を測るICTの活用」と題して、学修支援環境の改善をテーマにした。

プログラムとして、一つは、主体性を育む学びの環境として、学生が自ら学びに参加できるよう、院生などの協力を得て学生目線で学びの相談・助言を支援する仕組みが必要で、支援する院生にとっても自ら振り返りができ、学びを深化し成長につなげられるメリットのある事例として、組織的に取り組んでいる立命館大学のピア・サポートを紹介することにした。二つは、学修を振り返り、その結果を授業改善や教育プログラムに反映させる仕組みとして、eポートフォリオの活用に取り組んでいる大阪府立大学の事例を紹介することにした。その後で、昨年上肢した『大学教育への提言』でのICTを活用した能動的学修の工夫、大規模公開オンライン講座を活用した反転授業、情報関係補助金の活用などについて最新で重要な情報を提供することにし、以下の通りの開催要綱を策定した。

#### 平成25年度 教育改革事務部門管理者会議開催要項

日時：平成25年11月29日(金) 13:00～16:30  
場所：アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館) 6F阿蘇の間  
東京都千代田区九段北4-2-25 TEL:03-3261-9921  
総武線・地下鉄・都営新宿線「市ヶ谷駅」下車徒歩2分

#### 1. テーマ 「上級生による学修支援と学修達成度を測るICTの活用」

#### 2. 開催趣旨

教育への質的転換に向けた改革サイクルの確立と学修支援環境の改善への取り組みが急がれています。本年6月に閣議決定された「教育振興基本計画」によれば、今後5年間における具体的方策の中で、アクティブ・ラーニングの実施、事前準備・事後の展開を含む総学修時間の増加、教育の体系化、組織的な教育の実施、シラバスの充実、教員の教育力の向上などの課題に取り組むため、教学マネジメントの確立を図るとしています。その際、ティーチング・アシスタントなどの教育サポートスタッフの充実、主体的な学修のベースとなる図書館の機能強化、ICTを活用した双方向型の授業・自修支援や教学システムの整備など学修環境整備への支援を促進するとしています。また、ICTの活用に関しては、大規模公開オンライン講座(MOOC)などの取り組みに各大学の積極的な参加を促すとしています。

そこで本会議では、学修支援環境の改善について理解を深めますため、上級生による学生目線での教育サポートの必要性とその仕組み及び教育効果を確認し、学修の達成度を点検・改善する手段として必須のeポートフォリオシステムの導入と活用方法を中心に考察することにしました。

#### 3. プログラム

13:00 開会挨拶 向 殿 政 男 氏(私立大学情報教育協会会長)

13:05 講 演 「ピア・サポートによる新しい学修支援」

教員の指導のもとで、上級生が学生目線で助言やグループワークを援助することで受

講生の理解が進むとともに、授業運営に的確な助言を得ることで授業の質向上に大いに役立っていることと、上級生自身にとっても学びを深化し成長につなげることができるなど、主体性を育む学修に必須の全学的な取り組みについて紹介いただきます。

講師： 沖 裕 貴 氏（立命館大学教育開発推進機構教授）

14:05 休 憩

14:20 講 演 「eポートフォリオの導入と活用、今後の課題」

授業支援システムや教務学生システムと連携し、学生による学びの自己評価データや成績情報などを可視化し、学生と教員の双方で学期ごとの目標設定と振り返りを繰り返しながら、授業で何を身につけたか、達成度の自己分析のPDCAを自然に行わせるとともに、卒業までの学修プロセス全体が把握できることで全学での組織的な教育改善を促進している取り組みを紹介いただきます。

講師： 星 野 聡 孝 氏（大阪府立大学高等教育推進機構教授）

15:20 休 憩

15:30 関連情報提供

「大学教育への提言：未知の時代を切り拓く教育とICT活用」

「大規模公開オンライン講座（MOOC）の活用」

「情報関係補助金の執行状況」

「平成24年度情報投資額調査の結果」

16:30 閉 会

## （2）開催結果

参加状況は、50大学から75名の参加があった。

## 〔他3〕研究会等のビデオ・オンデマンド配信

大学教員のファカルティ・ディベロップメント、職員のスタッフ・ディベロップメントの貴重な資料として、教育方法及び教材開発、教育・学修支援の情報通信技術活用などの講演、事例紹介の著作権処理済のコンテンツをデジタルアーカイブしてデータベース化し、希望する会員に有料でオンデマンド配信している。コンテンツは23年度146件、24年度144件、25年度139件の計429件となっている。コンテンツの使用環境は、Windows Vista, Windows 7に対応し、追加アドオンソフト（Microsoft Office Animation Runtime、無料でインストール可能）が必要である。

25年度分の配信分担金は、正会員31,500円から52,500円、賛助会員は一律42,000円などで、23年度分はすべて無料としている。利用人数無制限で参加申込みはWebで行っている。